

**平成27年度  
第3回藤島地域振興懇談会  
会議録(概要)**

期 日：平成28年2月25日(木)

場 所：鶴岡市藤島庁舎2階

202・203号会議室

### 第3回藤島地域振興懇談会会議録（概要）

○日 時 平成28年2月25日(木) 午前10時～11時50分

○会 場 鶴岡市藤島庁舎2階202・203号会議室

○出席委員（五十音順） 9名

上田実、上野隆一、奥山康光、佐藤二美、高山千代子、田中壽一、富樫達喜、富樫正明、丸山克夫

○欠席委員 6名

五十嵐笑智子、小野寺菊子、佐藤耕喜、澁谷晃、鈴木紀生、相馬大

○市側出席職員

〈藤島庁舎〉 支所長 佐藤正規、市民福祉課長 叶野明美、産業課長 東海林良哉、  
東部建設事務室長 太田実、総務企画課課長補佐 井上克浩、  
総務企画課総務地域振興専門員 鈴木理恵、総務企画課専門員 叶野進

〈本所〉 地域振興課地域振興専門員 齋藤芳

○傍聴者 なし

○次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議

(1) 平成28年度藤島庁舎主要事業について

(2) 平成28年度地域活性化事業について

①人と環境にやさしい農業推進事業

②藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業

③鶴岡伝統芸能祭開催事業

④庄内農業高等学校地域連携事業

(3) その他

4 閉 会

#### 【会議の概要】

1、開 会（総務企画課長補佐）

2、会長あいさつ（上野会長）

3、協 議

(1) 平成28年度藤島庁舎主要事業について

－ 総務企画課長補佐、市民福祉課長、産業課長、東部建設事務室長 資料1により説明 －

(2) 平成28年度地域活性化事業について

①人と環境にやさしい農業推進事業

－ 産業課長 資料2により説明 －

②藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業

－ 総務企画課課長補佐 資料2により説明 －

③鶴岡伝統芸能祭開催事業

－ 産業課長 資料2により説明 －

④庄内農業高等学校地域連携事業

－ 総務企画課課長補佐 資料2により説明 －

(3) その他

4、開 会 (総務企画課長補佐)

3、協 議

(1) 平成28年度藤島庁舎主要事業について

－ 総務企画課長補佐、市民福祉課長、産業課長、東部建設事務室長 資料1により説明 －

○上野隆一会長 説明をいただきました。自分の関心のあることについて発言をお願いします。

○富樫正明委員 ポンプ庫建替え1棟とありますが、消防ポンプの更新はないのでしょうか。

○井上総務企画課長補佐 ないようです。

○富樫正明委員 予算厳しいのはわかりますが、ポンプも古くなっていて更新していかないと、いざ有事の際に正常に働かないとなってしまうので、ぜひ更新できるようにお願いします。鶴岡市藤島地域総合防災訓練、来年度は分団毎に実施となります。5か所に分かれて行いますので、ご協力をお願いします。

○高山千代子委員 防災訓練の日程、9月上旬ということですが、5分団同じ日時に開催されますか。

○富樫正明委員 1分団が藤島元町、2分団が藤島元町以外、3分団が東栄地区、4分団が八栄島、長沼地区、5分団が渡前地区です。その分団毎に都合のいい日時に決定しますので、9月第1週か第2週の開催になると思います。同日開催にならないかもしれませんがご協力をお願いします。

○上田実委員 平成28年度の主要事業の前に、平成27年度の反省ということで、第一回目の会議で今年度の主要事業を提示いただきました中で、平成27年度で達成できていないこと、平成28年度に積み残す課題などは全くなかったのでしょうか。各課からお願いします。

○上野隆一会長 回答をお願いします。

○井上総務企画課長補佐 総務企画課では、おおかた進んでいます。

○**叶野市民福祉課長** 市民福祉課からは主要事業として3つ、敬老会、こりす保育園民営化、窓口の充実をあげています。皆さまのご協力によりまして達成できていると思います。

○**上野隆一会長** 私は、住民自治組織総合交付金について、具体的にどういうことなのかと思っています。町内会長会として、交付金について詳しく聞いた方がいいのではないかと思ったのですが。

○**上田実委員** 私も3年前から町内会のことをしていますが、以前は、町内会長への報酬のほかに、補助金がきていました。町内会長の報酬については、直接個人の口座に入金なっていたので、決して透明感はなかったのです。それをオープンにして、各町内会の会計に入金、使い方は各町内会に任せる形になりました。自主防災組織、防犯灯、福祉等、必ず支出しなければならない項目があるのですが、残りの金額は、活動費として自由に使うかまわないことになっています。ある地域では、小学校に入学する児童にランドセルを贈ることもあるようです。平成27年度からこのようになりました。それに対しては、すんなり移行しました。ガラス張りになった感じです。

○**佐藤藤島支所長** いろいろ補助金という形で各町内会に交付していたものを、煩雑な手続きを省略する意味でも総合交付金という形で一本化したということです。その中で上田委員のお話しにもありましたが、町内会長さんが本来受け取るべき報酬も含まれているということで、一部、自分は要らないからと他に使っている例もあるとの事ですが、ぜひ町内会長さんには交付金には報酬部分も含まれていることから、ある程度の報酬については、受け取っていただきたいと思います。頂くものは頂いて活動がんばっていただくようお願いできればと思っています。

○**上野隆一会長** 行政が出すお金としてはめずらしく、自由度の高いお金だなと感じます。

○**上田実委員** ただ1点、藤島地域には61町内会あります。世帯数が10戸未満の町内会もあれば、世帯数が200戸を超える町内会もあり、もちろん戸数割ということがあるのですが、上限額があります。世帯数×単価ということでないので、世帯が多い町内会はたいへんだなと感じています。

○**富樫達喜委員** 私の認識では、総合交付金というのは、相対的な予算を切り詰めようという時にいい手段です。これに切り替える従前と比較して、切り詰められましたか。かわりませんか。

○**上野隆一会長** 金額で回答できますか。

○**井上総務企画課長補佐** はっきりわかりませんが、下がっていると思います。

○**丸山克夫委員** 総合交付金の町内会長の報酬について、最低限これくらいはというのがありますか。例えば私の方の町内会長は、報酬を下げて、ほかのことにふりむけているようです。次に町内会長になった方がそのようにするかはわからないので、人が代わるたびに報酬が変動するのもしがちなものかと思っています。

○佐藤藤島支所長 総合交付金になりましても、その内訳は町内会長報酬相当額も含んで一定の基準で算定されているものですから、町内会長さんの報酬につきましては、そのあと続く方のこともありますので、受け取っていただきたいと思います。

○上野隆一会長 ほかにありますか。

○奥山康光委員 藤島斎場に関してです。私が最後に行ったのは2年くらい前になりますが、鶴岡斎場と比べて職員の服装がくたびれていて、言葉づかいなどももう少し教育をしていただいた方がいいのではと思います。親族にとって最期のお別れの場所になるので、更新をする予算があるのであれば、制服の貸与なども考えて、職員に対しても配慮していただければと思います。

○叶野市民福祉課長 以前、そのような要望やクレームをいただいてから、委託業者に十分注意をしました。今年度はそのようなクレームはきていません。委託業者もかわりましたし、服装については見ていませんので確認しますが、言葉づかい、扱いも丁寧にといいことは何度か注意していますので、これからも継続していきます。

○丸山克夫委員 敬老会の実施について、平成28年度は従来どおりやるということですか。

○叶野市民福祉課長 今年度補助金一人当たり2,400円から来年度は2,200円です。200円下がります。藤島地区は各町内会での開催になります。他の地区は従来どおりです。

○佐藤藤島支所長 補助金を統一する流れの中で、藤島地域の補助金は段階的に下がることを受けて、藤島地区の町内会長会ではどのように来年度運営するか検討しております。その中で、藤島地区では地区全体でやっていたものを、各町内会毎でやりましょうという結論になったものです。藤島地区以外の東栄、八栄島、長沼、渡前地区は従来どおり各地区単位での開催となります。

○田中壽一委員 箱わな貸出事業は平成27年度からの新規事業ということでした。利用実態を説明願います。

○叶野市民福祉課長 予算は今年度予算で、2月に納品になったばかりです。実際に貸出するのは平成28年度になります。

○田中壽一委員 内容については、貸出するだけですか。捕らえられたものはどうするのですか。

○叶野市民福祉課長 捕えた方から責任をもって処分してもらいます。箱わなを使うには申請、許可が必要です。これは、庄内総合支庁に申請していただいて、許可がおりた方に貸出します。その方法は、衛連通信など全戸配布で説明させていただく予定です。

○富樫達喜委員 許可がないとハクビシンは駆除できないのですか。

○**叶野市民福祉課長** はい。それも自宅に限りです。タヌキも同様です。

○**佐藤二美委員** 福祉ワンストップ窓口の推進についてです。すごくいいことだなと思っています。私も困ったとき、わからないときにどこかに連絡すれば電話一本かければ提案をしてくれるところあればいいなと思っていました。若い人だと色々な情報を得やすいのですが、年配の方も多くなっていますし、一人暮らしや夫婦で高齢の方もいらっしゃると思いますが、本当に困ったときにどうしたらいいかを福祉中心に相談するわけですが、とにかくここに連絡すればどうにか教えてもらえるという、総合窓口というのがあったらいいなと思っていたところにこの資料いただいたので、これからの時代にとっても必要なこと、身近なところでとっても必要なことだと思うので、ぜひ、早めの開設と内容の充実をお願いします。頼りになる窓口になっていただきたいと思います。

○**叶野市民福祉課長** それぞれのところと協議、検討させていただき、早めの開設に努力します。

○**上野隆一会長** 東部建設事務室の太田室長にお聞きしたいのですが、京田川のおはなしです。三和町内会ではこの先どうなるかと気にしております、もう少し先のことを詳しく教えてください。

○**太田東部建設事務室長** 県事業ですので細かいことはわかりません。県の河川計画に位置づけないと進まないのので計画変更を今年度春からとりかかっているようです。三和の京田橋より少し上流の庄内町側から流入している宇津野沢川を、大雨被害を受けて県が改良したこともあって、その合流点から京田橋間の未改良部分について県河川計画に位置づける計画変更をすすめています。それが今年度終わる見込みということです。

○**上野隆一会長** 今年度というのはこの年度ですか。延長はどのくらいですか。

○**太田東部建設事務室長** 今年度です。延長は京田橋から宇津野沢川の合流付近まで600メートルを護岸整備する計画です。来年度が用地測量、その後用地買収と進みます。その後のことは確定していない状況です。

○**丸山克夫委員** 藤島墓園はどこにありますか。

○**叶野市民福祉課長** 藤島斎場のうしろ、北側です。大洞寺の裏になります。

○**丸山克夫委員** 今、問題になっている無縁仏というようなことはありませんか。

○**叶野市民福祉課長** 今のところ毎年の管理料は完納いただいております。管理される方が遠方の方になっていることもありますが、まだ困ったことはありません。いずれ問題になってくるかもしれません。

○**上田実委員** 夏まつりの件です。各団体向けの特別観覧席を設けるとあります。どういう感じにし

たいのですか。

○**東海林産業課長** 出演団体の交流を図りたいということです。先ほど、平成27年度事業でやり残しはないのかというご質問でしたが、産業課では、平成28年度事業であげている事業のほかに、今年度は「米づくりがさかんな藤島のインターネットを活用した情報発信事業」と「地籍調査事業」があがっていました。インターネットを活用した情報発信事業につきましては、小松写真印刷に制作作業委託しまして、3月25日納品予定です。全国の小学校5年生の教科書の75%が庄内平野を紹介しているものですから、4月から6月になると、インターネットで「庄内平野」と検索する件数がはね上がるそうです。それを開くと一年間の米づくりの様子が画面で動くような内容で、順当に作業すすめているところです。ナレーションの文言手直しをしているところです。地籍調査事業につきましては、東堀越字沢田をほぼ終えたところです。

○**上野隆一会長** (2)平成28年度地域活性化事業について、説明をお願いします。

(2)平成28年度地域活性化事業について

①人と環境にやさしい農業推進事業

－ 産業課長 資料2により説明 －

②藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業

－ 総務企画課課長補佐 資料2により説明 －

③鶴岡伝統芸能祭開催事業

－ 産業課長 資料2により説明 －

④庄内農業高等学校地域連携事業

－ 総務企画課課長補佐 資料2により説明 －

○**上野隆一会長** 資料1の内容と重なる部分もありましたけれども、平成28年度の事業としてこうしていることを考えているという説明でした。これに対して意見、質問ある方発言をお願いします。

○**佐藤二美委員** 藤島歴史公園についてです。今の状態ですと公園の中の鉄塔、その周りの緑のネット、そして「送電注意」、「立ち入り禁止」などすごい色の看板などがあって、公園には似合わないかと常々思っています。あれはずっとあのままの状態なのでしょうか。とすれば、もう少し工夫して表現のしかた、視覚的に優しくできないでしょうか。あの高さを利用して植物を縦に植えるとか、もう少しソフトなイメージになるような工夫できないのでしょうか。

○**太田東部建設事務室長** 基本的に鉄塔は東北電力のもので、その場所を選択したから仕方がないかなと思います。現在2月から高圧線の張り替え工事中ですので、この工事が3月末に終われば、今ある緑のフェンスは工事用の仮設ですので撤去されて、本設は茶色のフェンスが設置になります。東北電力側の安全施設として、やはりフェンスは必要だということです。あとは、公園の真ん中が東北電力の土地ということで、鉄塔、変電設備を含めて、産業遺産のような形で藤島での電力の歴史を発信するようなことを東北電力にもお願いしたりもできるかなと思います。東部建設事務室は建設担当

ですので、こうした運動は、藤島庁舎、藤島地域で盛り上げていくべきものだろうと思っています。

○上野隆一会長 交渉事でしょう。基本的に東北電力は安全性ということを盾に取って、すぐに設置しなくてもいいですとは言わないでしょうけれども、ここまでだったら、地上何メートルだったらどうだとか、交渉のしかただと思います。そういうことをやっていくのか、やらないままなのかで、公園の景観はだいぶ変わっていくと思います。ですからやはりやっていきたいと思います、この場で決めてやってもらいたいと思います。あのままではセンスがない。

○佐藤二美委員 鉄塔あってもプラス志向に考えて、いろんな工夫ができると思います。お願いします。

○上田実委員 藤島歴史公園、とってもいい名前ですが、2、3年後観光としてお客様を誘致する場合、公園のサブネームといいますか、例えば「ふじフラワーパーク」とか、チラシなど出す場合にインパクトのある名前をつけた方がいいのではないのでしょうか。来週講演予定の塚本先生も飯豊町の「どんでん平ユリ園」という名前をつけていますが、一度聞くと忘れられなくてまた行きます。花が咲く数年後までに考えてもいいのではと思います。

○上野隆一会長 歴史公園というほど歴史を持ったものがあるかということです。

○上田実委員 インターネットで日本の公園250選などをみていましたが、歴史公園とつく公園は2つだけでした。サブネームでインパクトあるようなものがあつたらと思います。それから、歴史公園の協働美化活動、75名も集まる機会に、有料でもいいので、すいおうや米粉の料理の提供をして、知名度をあげたらいいのではないかと思います。私も秋まつりでごちそうになって、そのときはすごいと思うのですが、あとは忘れてしまって持続性がないのです。人が集まる事業を利用して広報したらいいのではと思いました。

○上野隆一会長 このままで終わるとやはり歴史公園のままで経過してしまいます。何かしらネーミングを考えて、来年度も同じメンバーで集まるのですから、この場で2回、3回と案を揉んで、繰り返し検討していかないとかわらないと思います。みなさんが納得するようなものがでてくれば、かわっていけると思います。

○佐藤藤島支所長 活性化の方向性として、愛称募集というやりかたもあると思います。

○上野隆一会長 考え直しをするのはいいかもしれません。

○佐藤藤島支所長 色々とマスコミにとりあげていただいて関心を持っていただくのも一つの手法かと思います。

○上野隆一会長 それをしていきましょう。

○丸山克夫委員 藤島歴史公園の芝生の部分は立ち入り禁止ですか。道路ばかり歩くより、芝生で遊ばせたほうが良いと思うのですが。

○太田東部建設事務室長 遊んでもらっていいのです。昨年7月にオープンしたときは、芝生の育ちが悪く、養生のために囲んでおいた経過がありました。芝生で遊んでもらって大丈夫です。今後もやはり土がでてしまったところには種を植えたりしますので、その際は、立ち入り制限することがあるかもしれませんが、基本的に開放としています。

○上野隆一会長 この懇談会の中で、かなりの回数名前がでてくるのが「庄内農業高等学校地域連携事業」です。今回も大きく取り上げています。余談になりますが、酒田駅長さんが御礼とごあいさつということでうちにきました。東北公益文科大学に「おもてなし隊」というのがあります。「おもてなし隊」が観光客に手を振ってお出迎えしたり、そういった活動があちらこちらで話題になりまして、9月11日の全国豊かな海づくり大会にも結構な人数が参加して活動することになっています。要はひとつの大学としてのキャッチフレーズになりつつあります。下手なことをやるよりこれやったほうがずっと早くていいのではないかと提案しようかと思っています。庄内農業高校もいろいろやるんですけども何かインパクトがいまいち欠けるのかなと思っています。「おもてなし隊」というのをまた同じものをつくるというわけにはいかないにしても、もう少しインパクトのある何かができないかと思っています。それをやるのがこの地域連携事業でないかなと思います。これもいろんな団体が集まると核になるところが少なく、話しはいろいろでも進まないというのが大体のパターンです。肝心なのは庄内農業高等学校自体だと思っていますけど、庄内農業高校にプレッシャーというのでしょうか、特に学校の先生方というのは、物事を革新的に変えていきたいという人はそんなにいないでしょうか、たまにいても異動してしまうので、これはやばいかなと。今度学科編成で3つが2つにかわるというのは、要するに入る人がいなくてかわるわけですから、減っていくわけですから、このままだと消滅の可能性もなきにしもあらずですから、何か活性化対策としてもうちちょっと一步踏み込みたいなと思いますが、残念ながら私も具体的な案というのはいないです。ないですけども、「おもてなし隊」に学んだ何かが出てこないかな、と。みなさんからも何か考えてもらいたいなと思ったところです。やはり、藤島庁舎が中心となって進めないでだめかもしれないですね。

○佐藤藤島支所長 地域連携事業のねらいとして庄内農業高校がいかに活性化し、地域に存続していただけるかが極めて重要と思っています。もっと庄内農業高校が魅力ある高校になるためには、場合によっては学科再編まで必要なものとおもっておりますが、会長さんのお話のとおり、高校自らの取り組みが重要だと思いますので、私共は、いろんな情報を捉えながら、こういった会でご意見をいただき、常に高校とも連携を密にして、やっていきたいと思っています。ぜひ、この場でもご意見をいただければと思います。

○上野隆一会長 東洋大の学生は、藤島に来ていろんな調査をしているようですが、それに対して庄内農業高校の生徒はからんでいるのでしょうか。山形大学でも、東北公益文科大学でもいいのですが、東京の大学とからみを持つことによって、進路の選択が広がるか、なにかの魅力をつくるというのが大切なと思います。それは、学校だけでなく地域全体が一丸となって向かっていかないとなか

なかベクトルがちらばってしまいますから。せつかく9年間もきてくれたのだから、庄内農業高校とコラボを考えてもいいのかなと聞いていて思いました。

○佐藤藤島支所長 東洋大学は7つの班で研究のテーマをもっているようです。その中のひとつに「庄内農業高校のこれから」というようなテーマもあるようです。明日、藤島庁舎を会場に報告会がありますのでぜひご来場ください。

○上野隆一会長 庄内農業高校から東洋大学社会学部に進学はありますか。

○東海林産業課長 その情報はありません。

○上野隆一会長 東洋大学社会学部に特別枠をもらって、庄内農業高校から毎年2、3人推薦枠で進学できるようになれば進学するものがでてくると思います。進学の実績が広がれば希望がでてきます。

○佐藤二美委員 今の庄内農業高校について、庄内農業高校の生徒さんを応援したいという気持ちはもちろんあるし、県立の高校があるというのがいいことだなどと思っています。先ほど会長さんのお話しにもありましたが、高校自体のPRがなかなか伝わらないです。先日もアートフォーラムで合唱部の発表がありました。観客の方40人位でしょうか、校長先生もきていましたけど、そういう話題が地域に伝わらなくて、父兄にも案内しているのかどうかもわかりませんが、去年は演劇クラブで藤島センターのホールで演劇部の発表がありまして、食育についてということで、三川町から依頼されて自分達で作ったという劇でした。その時も、声かけられて行ったのですが、観客が40人くらい。観客が100人くらいいたら、やる方も楽しいだろうなと思っていて、もっと何とかならないだろうか、先生方がPRしなかったのかなとか思いながら、やるだけでなく大勢の方にみてもらうというのが前提ですので、もうちょっと力を入れていただきたいなと思っています。広報ふじしま版にコーナーを設けて行事を載せるとか。回覧板になっていると書いてありますが、見ないような。小学校だと全戸配布なりますけど、こどもたちの将来の夢など書いてあると結構見ます。庄内農業高校のそういった情報も全戸配布してもいいのかなと思ったり、できることを、動きを出さないと、伝わらないというか、見えないというか、そのへんを具体的な行動をとっていったらもっと動きがあるのかなと。今よりは動きがあるのかなとっていました。

○上野隆一会長 先ほど説明でもできました、庄農うどん、本当においしいです。こんなにおいしいものどうしてもっとつくりたくないのかと、商売しないのかと、学校は商売できないわけですが、あれだけおいしいものをつくれるというのは、非常にインパクトのある話です。そこから調理師になるとか、今大体庄農生の卒業生がそのまま農家をするというのは一人、二人のようです。進路も我々の時代とは違ってきていますので、農業高校で農業科目だけ教えていいのかというレベルになっています。調理師の科目をつくっていくとか。うどんをひとつのインパクトにするというのはいいのではと思うけれども、それも学校がどこまでやれるのか。教育委員会のしぼりがあるとか。

○上野隆一会長 何かいい方法はないでしょうか。

○奥山康光委員 この地域振興懇談会のメンバーに庄内農業高校の教員の方からはいっていただけないでしょうか。今伺っているおはなしですと、教職員の方と温度差が相当あるようなので、ここに直接きてもらって、いろんな提案ができるのではないのでしょうか。

○上野隆一会長 庄内農業高校でやるこのような会があります。私も長く評議員はしているのですが、都合であり出られないでいます。その場でも校長はじめ教職員と評議員で会議をしています。逆に先生からこちらにきてもらうということもある。これだけ庄農っていうのはみなさん関心があってこの地域の中心的存在でもあるので、はいてもらうのもいいですね。

○佐藤藤島支所長 常時この会にメンバーとして入っていただくというのは難しいと思いますが、来年度も引き続きこのメンバーでこの会をすすめますので、その一つの議題として庄内農業高校の活性化というテーマで、オブザーバーとして庄農の先生から参加していただくという形もとれるのかなと思います。そういうことで検討させていただければと思います。

○上野隆一会長 やってみましょうか。

○田中壽一委員 庄内農業高等学校地域連携協議会の会長を私がやっております。やはり公立高校ということで当然しぼりはあります。しかしながら今の校長先生は、自ら生徒の中に溶け込んでいくし、積極的な先生です。実務は教頭先生というより校長先生が積極的に協力してくれています。うどんやシフォンケーキ、すいおうとの取り組みなど前向きにしてくれています。ただ、会長からもおはなしあったようにインパクトのあることが必要なのかなと私も思っています。以前から庄農うどんについては大々的にPRして販売に結びつけることができないかと再三申し上げています。庄内農業高校では昨年より調理場を改装して、シフォンケーキ、うどんの製造許可おっています。ただ、農業高校の中で、商売は成り立たない、商売してはいけないということですから、農協、商工会なりを通じてできないかということですね。山形県の中で農業高校は、置賜農業高校と庄内農業高校の2つしかありませんので、貴重な農業高校です。ぜひ、新しい取り組み、農作業だけでなく加工、販売に結びつけていけるような高校を目指すべきでないのかなと思います。今の生徒も農業出身者はほとんどいないそうです。そういった意味合いから、もっと庄内農業高校に入学してくれる人を呼び込むには、新たな分野でやればと思います。先生方を呼んで検討するのも賛成です。

○上野隆一会長 外でいろいろ意見をいっても中が動かない。やはりはがゆい。

○田中壽一委員 手続きがひとつひとつ書類だして伺い立ててという手順を踏んでということで、なかなか難しいようです。

○丸山克夫委員 藤島歴史公園に庄内農業高校で花苗持ってきていましたが、学校でも年1回、花苗の販売をしています。その際も特定の人にしかお知らせがなくて、私はたまたま知人に教えてもらって

行ったことがあるのですが、完売になるほど客がありました。商売して悪いといわれればそれまでですが、もっと広く、積極的にお知らせしたほうが良いと思います。

○上野隆一会長 庄農うどんについて、私も商工会側から働きかけてみます。

○丸山克夫委員 以前ふれあいセンターで売ったこともありました。

○上野隆一会長 一時的に販売するのは、商売でなくて余れば持ち帰るやり方で商売ではない。とすればすぐ完売する。一時間もしないうちに完売するわけです。

○田中壽一委員 授業でしか生徒は作れないので、放課後部活動などで作るしかない。

○上野隆一会長 研究を重ねれば良い。授業の一環だなんて簡単なものでなくて、どうすればこういうようなものができるのかと、研究しながらやるとすれば、授業の密度、時間を長くしてもかまわないと思います。応用して考えていく、単位認定していくとなれば良い。要はそこまで物事を掘り下げて考えていくのか、あと駄目だ、考えるのをやめる、しないことにすると。それは役所だって同じです。そんなことはいっぱいある。とにかく主体的に動く、動くように民間が働きかけるのが大切です。

○奥山康光委員 今これだけ農業の6次産業化という動きがあるので、それを授業の一環として取り上げて、例えば歴史公園の集客のために週末だけ公園で販売してみるのはどうでしょうか。6次産業化というものが世間に知られているので、それに組み組めば加工も常に可能になるなと思いました。

○上野隆一会長 つくれば売るところはいっぱいあります。定期的につくってもらえないというはなしです。

○奥山康光委員 販売までいれて6次産業化だと思うので、販売まで授業の一環ですよということであればいいのかなと。

○上野隆一会長 一步踏み出すことぐらいはできるのではないかと。ただ、またそこで止まってしまうのではと思います。

○高山千代子委員 いろんな話でしていますけども、やっぱり「ひと」だと思います。「ひと」をいかに作るか。今庄内農業高校の先生方の応用のなさとか、それが話題になっていますけど、人間だれしも持っていることで、特に公務員は「きまりがある」「こうでなければならない」というのがあると思います。でも、住民の人たちが困ってこうしたいということがあったら、この方法は駄目だけれど、こっちの方法があるのでは、と教えてくれるプロが公務員だと思います。庄内農業高校に先生方をうまく回すのも教育委員会という組織があるわけですが、組織だって「ひと」をつくっていかないことには、「ひと」を良く指導できる人が「先生」だと思います。応用のきく、器の大きい人間をつくっていか

ければならないと思います。そのためには、庁舎の職員、われわれ一般の人ですが、常に前向きな姿勢でいろんな業務にあたっていかなければならないのではと思います。どこかの施設で職員が暗い顔をして、座っていられると、ものが頼めないのです。お願いしにいても、二の足踏んで今日はやめようという心境になるので、公的な機関の職員は、住民の方がいらしたらお客さまがいらしてくれたんだというふうに思っていていただくような姿勢で業務にあたっていただきたいと思います。私たちも全員含めて、話しかけられないような雰囲気ではなくて、ちょっと相談できるような雰囲気、会話の中からいいことがうまれることがあるでしょうから。学校の先生方も私たちもサービス業なのではないかと思います。人間ずっとサービス業をしていると思えばいいと思います。

○上野隆一会長 みなさん、やわらかい、明るい対応を心がけましょう。

○高山千代子委員 会議の中とはまた別で、普段、一般の方が入りやすい雰囲気、そこにいる方がしかめっ面しては入りづらいと思います。表情よく口角をあげて「いらっしゃい」「今日はどうしましたか」と接することが大事で、はなすことができれば、課題解決にむかっていくと思います。

○上田実委員 ぜひ、今回は庄内農業高校の先生をお招きしてください。

○上野隆一会長 ある程度時間区切っていたほうがいいのではないかな。

○上田実委員 奥山委員のお話で、販売までが授業にはいるというのであれば、確実にできるわけです。販売実習となる。授業以外で販売実習はできないのかどうか聞いてみたいと思います。

○上野隆一会長 校長先生と実務の先生、2人きてもらえたらいいのでは。学校では学校で評議委員会などの組織もあるかと思いますが、この会にきていただくのもいいのではないかと思います。

○佐藤藤島支所長 ご意見があったということで、庄内農業高校さんと相談させていただいて、新年度に向けて検討していきたいと思います。やり方につきましては、会長さんと相談させていただきます。

○上野隆一会長 ほかにありますか。

○富樫正明委員 藤島体育館の駐車場ですが、消防団で4月に春季消防演習と7月に消防操法と利用させていただいていますが、何か所か陥没している場所があり、歩行者も自転車でおるのも危険だと思うので早急に整備をお願いします。

○佐藤藤島支所長 体育館の駐車場ですとスポーツ課の管轄になりますが、もし除雪が原因であれば、ある程度雪が落ち着いた頃の修繕になると思いますが、とりあえず早急に現場確認をします。

○上野隆一会長 今日は次回に対する具体的な方策ができました。来年度またおもしろくなればいいですね。本日の協議は終了します。

(3) その他

○太田東部建設事務室長 藤島歴史公園のシンボルツリーについて、大藤棚に植栽する九尺藤が到着していきまして、週末か週明け、天候みながら植栽しますので、ご報告です。

○上野隆一会長 これにて第3回目の懇談会を終了します。ご協力ありがとうございました。

7、閉 会 (井上総務企画課長補佐) 本日は貴重なご意見等ありがとうございました。本日の会議録はみなさんから一度確認をしていただき、ホームページに掲載となりますのでよろしくお願ひします。以上をもちまして、今年度最後の藤島地域懇談会を閉会いたします。ありがとうございました。